企業価値向上にむけて

企業価値向上の基本的な考え方

社会・環境ビジョン 2030

バリュー・ビジョン（大切にする価値・2030 年目指す姿）

地球環境への責任を果たす

ノーリツグループは環境課題の解決に向け、省エネ・章資源で高品質な製品を積極的に開発・販売します。

お客さまとともに未来を考える

ノーリツグループはお客さまとともに未来を考え、イノベーションを通じてクリーンで快適な生活をお届けします。

パートナーシップで成長を目指す

ノーリツグループはパートナー企業さまとの連携により社会課題を解決し世界中で選ばれ続ける企業へと成長します。

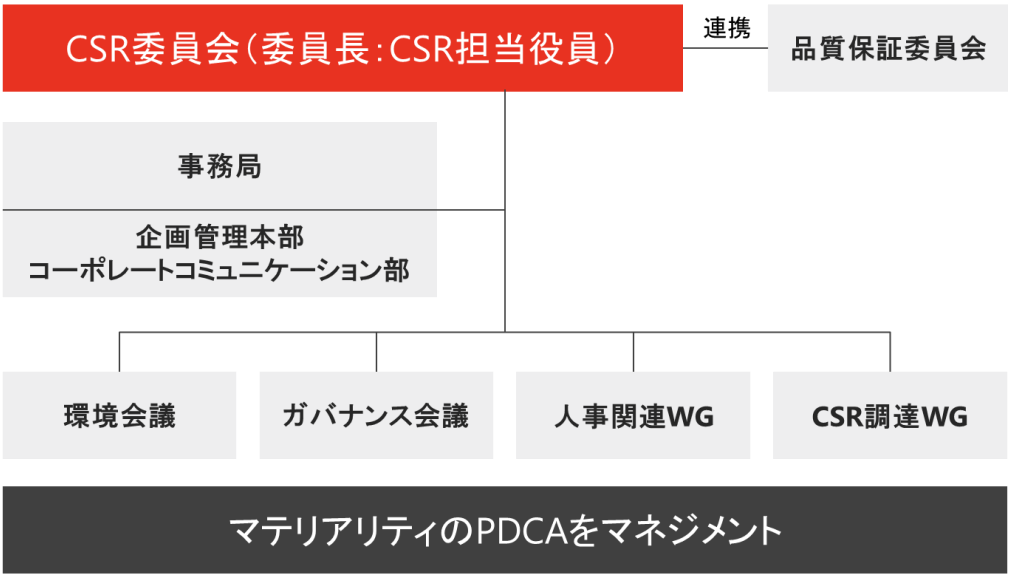
課題

- 事業活動のCO_2排出量削減（RE100に向けた省エネ）
- 製品のCO_2排出量削減（エネルギー多様化対応）
- 循環型社会への貢献（事業活動の廃棄物削減）
- 循環型社会への貢献（給湯器リサイクル事業促進）
- サプライチェーンのリスク対応
- カーボンニュートラルに向けた取り組み
- サーキュラーエコノミー
- お客さまの安心・安全
- お客さまとのつながり強化（ダウンアイムゼロ化※）
  ※故障停止による支障時間ゼロ
- お客さま満足向上（社会課題対応型商品拡販）
- 顧客ニーズの多様化対応
- 日本の技術の海外展開

サステナビリティの取り組み

「Q+ESG」＝企業価値向上と利益 UP に不可欠な取り組み

ノーリツグループは 70 年の歴史の中で時代の進化に合わせ、安全・安心、豊かで快適な暮らしを提供し続けてきました。私たちはこれからも選ばれ続ける企業として、企業価値を向上していくために、品質（Q）を最重視し、環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）への取り組みを事業活動のベースにした「Q+ESG」経営を行います。
また、「SDGs（持続可能な開発目標）」の中でも、事業活動と特にかかわりの深い「No.9」（技術革新の基盤づくり）、「No.12」（つくる責任/つかう責任）、「No13」（気候変動対策）、「No.17」（パートナーシップ）の 4 つのゴールを重視し、新たな価値の提供を目指します。

CSR 推進体制

2007 年より代表取締役社長が委員長を務める CSR 委員会を設置し開催しています。2020 年より議長を代表取締役社長から、CSR 担当役員（取締役兼専務執行役員）へ変更し、より現場に近くスピード感のある体制へ変更しました。毎月開催される取締役会や経営会議の場でも CSR に関する課題の審議・決定をおこなうことで経営と CSR の融合を実践するとともに、取り組みの迅速化を図っています。
4 月と 10 月に開催する CSR 委員会ではマテリアリティの KPI 進捗について確認し、PDCA マネジメントを推進しています。